

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

企業とは人々の幸せのために存在すべきものであり、それだからこそ社会から支持され、存続することができる

営業収益
4,500億円

営業利益
320億円

ROA
8.0%以上

ROE
8.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. 出店拡大

パワー、PRO、ハード&グリーン等のフォーマットで船団方式出店。
ドミナントエリア形成で商圈売上シェアを向上

3. 商品力強化

EDLP推進、PB商品強化、フルリフォームと住急番サービス拡充。1,200超店舗でコッコ便配送拡大

2. 物流機能拡充

国内12カ所の物流センター拡充。内製化・効率化で流通近代化とローコスト化を実現。物流2024年問題に対応

4. プロ需要獲得

パワー・PRO出店で建設事業者利便性向上。JAとの協業で農業支援モデル構築し産業化支援

③ 対処すべき課題

① 遅れた流通分野の近代化

- ・ 資材・建材、金物・工具、園芸・農業用品の流通改革を実現
- ・ 生産から販売までのサプライチェーン全体をトータルプロデュース
- ・ チャレンジする市場規模7兆円での流通改善

② 厳しい経営環境への対応

- ・ 消費者物価上昇で実質賃金上昇伴わず、生活防衛意識が高い継続
- ・ 人件費・物流費・建設費・光熱費上昇への対応
- ・ 業種業態垣根を越えた競争激化への差別化

③ 持続可能社会実現

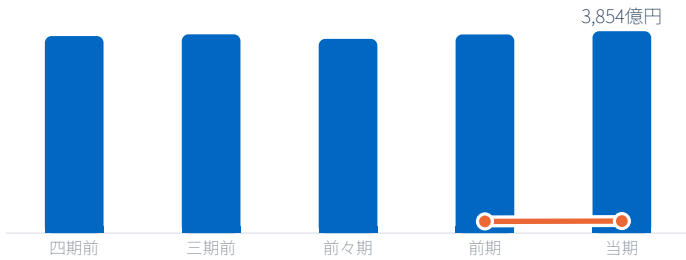
- ・ 商品・店舗・物流・サプライチェーン全体での省力化・効率化
- ・ 気候変動リスク把握と脱炭素社会実現への対応
- ・ 環境・社会課題解決と企業成長の両立

面接で使えるポイント

- ・ 資材・建材市場7兆円の流通近代化に、1,200超店舗と12カ所物流センター基盤で挑戦する事業成長
- ・ 金物・工具、園芸・農業資材を核に、建設事業者や農業者のプロ需要を獲得する具体的な施策
- ・ 人は事業最大の柱という経営要諦で、多様な人材が活躍できる労働環境整備と人的資本投資を推進

証券コード 8218

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
新潟県を本拠地とする上場小売企業

主力事業・セグメント

- ・小売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高3,705億円の事業規模
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
3,705億円営業利益率
6.2%財務健康度
53点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 46.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
490万円

小売業内 228位/318社

平均年齢
38.9歳

小売業内 220位/318社

平均勤続
13.0年

小売業内 117位/318社

女性管理職
22.3%

小売業内 59位/250社

男性育休
34.1%

小売業内 153位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 株式会社コメリが設立したNPO法人コメリ災害対策センターと、

